

へいせい ねんど にほんごべんろんたいかい
平成27年度 日本語弁論大会

SenTIA たのしく^{にほんご}日本語トーク！

べんろんしゅう
弁論集



にち じ がつ にち にち
日 時 : 10月25日 (日) 13:30 ~ 15:00

ば しょ せんだいこくさい てんじとう かいぎしつ
場 所 : 仙台国際センター 展示棟 会議室1・2

しゅ さい こうざい せんだいかんこうこくさいきょうかい
主 催 : (公財) 仙台観光国際協会

もくじ 目次

たいかいがいよう 大会概要	1
はっぴようしゃいちらん どうじつ 発表者一覧・当日プログラム	2
はっぴよう 発表	3~9
【 ^{たの} 楽しいトリオ賞 ^{しょう} 】「 ^{しょう} ほっとする ^{ひととき} ひととき」	
ホセ ベルランガ オリビエ グラニエ ノエル サヤル	3
【 ^{かんどう} 感動トーク賞 ^{しょう} 】「 ^{わたし} 私 ^{おも} が ^{へいわ} 思う ^く 平和な暮らし」	
スベディ ジャヌカ	4
【 ^{しょう} おもしろコント賞 ^{しょう} 】「 ^{こころ} 心 ^{ところ} のある所 ^{ところ} にはピースもある」	
チェン リージュン シェ イン チェン	5
【 ^{しょう} なるほどトーク賞 ^{しょう} 】「 ^{にほん} 日本 ^{あんぜん} の安全 ^{について} について」	
ヒロセ ファスタ ダリア	6
【 ^{しょう} ロングなトーク賞 ^{しょう} 】「 ^{りゅうがくせい} 留学生 ^の のピース」	
マムン アブドゥラ アル	7
【 ^{しょう} よくできましたで賞 ^{しょう} 】「 ^{わたし} 私 ^{つく} たちが ^{にほんごしんぶん} 作った日本語新聞」	
シドレンコ ユリア バタライ ビギャン アシュ ハドゥ イスマイル	8
【 ^{すてき} 素敵なトーク賞 ^{しょう} 】「 ^{ちい} 小さな ^{はっけん} 発見 ^{たび} の旅」	
ちょう 張 る 璐	9
しんさいいん らいじようしゃ こえ 審査員・来場者の声	10
とうじつ ようす 当日の様子	11
ボランティアの活動の様子 ^{かつどう ようす}	12

◆日本語弁論大会「SenTIA たのしく日本語トーク！」◆

仙台で暮らす外国人市民が、それぞれの想いを日本語で発表する大会です。せんだい地球フェスタの開催に合わせ、ボランティアスタッフの協力のもとで実施しています。

今回は弁論のみならず、グループでの発表や寸劇もあるなど、これまでの弁論大会とは一味違った自由なスタイルで楽しいトークが繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。

「SenTIA たのしく日本語トーク！」概要

- 日時：平成27年10月25日（日）13：30～15：00
- 場所：仙台国際センター展示棟 会議室1・2
- テーマ：「あなたが感じるピース（PEACE）なひととき」
- 賞：全組に内容に合った各賞を授与（「楽しいトリオ賞」「感動トーク賞」など）
副賞は商品券5千円分（1組ごと）
- 出場者数：7組12名
- 来場者数：約100名
- 主催：（公財）仙台観光国際協会（SenTIA）
- 審査員：板橋 恵子氏（Date fm DJ・パーソナリティ）
阿曾 容子氏（NPO法人 国際都市仙台を支える市民の会 ICAS）
オム・テボン氏（東北大学法学研究科博士課程、2014年せんだい地球フェスタ実行委員長）
二本柳 基（公益財団法人 仙台観光国際協会 常務理事）

「せんだい地球フェスタ」とは？

せんだい地球フェスタは、市民の国際交流、国際協力、多文化共生といった国際活動を紹介し、様々な出会いと学びの場を提供するイベントです。

今年は、仙台国際センターに新設された展示棟に会場を移し、63団体と92名のボランティアが参加。当日は約4,000人が来場し、「Peace Everywhere.」のテーマの下、世界の文化を体感できる一日となりました。



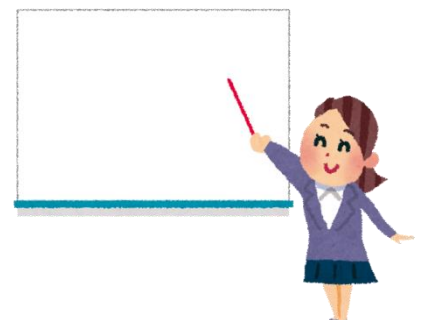
せんだい地球フェスタ
マスコットキャラクター「チッキー」

はっぴようしゃいちらん
★発表者一覧★

はっぴようしゃ 発表順	なまえ 名前	しゅっしんこく 出身国	はっぴよう 発表タイトル
1	ホセ ベルランガ オリビエ グラニエ ノエル サヤル	メキシコ フランス スペイン	「ほっとする ひととき」
2	スベディ ジャヌカ	ネパール	「わたし おも へいわ く 私 思う 平和な暮らし」
3	チェン リージュン シェ イン チェン	たいわん 台湾	「こころ ある ところ 心 の ある 所 には ピース も ある」
4	ヒロセ ファヌタ ダリア	ルーマニア	「にほん あんぜん 日本 の 安全 について」
5	マムン アブドゥラ アル	バングラディシュ	「りゅうがくせい 留学生 の ピース」
6	シドレンコ ユリア バタライ ビギャン アシュ ハドゥ イスマイル	ロシア ネパール モルディブ	「わたし つく にほん ごしんぶん 私 たち が 作 っ た 日 本 語 新 聞」
7	ちよう る 張 璐	ちゅうごく 中国	「ちい はっけん たび 小 さ な 発 見 の 旅」

とうじつ
★当日プログラム★

1. かいかい
開会
2. はっぴようしゃ しん さい いん しやうかい
発表者・審査員紹介
3. はっぴよう
発表
4. しん さ はっぴようしゃ
審査・発表者へのインタビュー
5. けっ か はっぴよう ひやうしやう
結果発表・表彰
6. へいかい
閉会





たの

しょう

楽しいトリオ賞「ほっとする ひととき」



(※写真左から)

ノエル・サヤル さん (スペイン)

オリビエ・グラニエ さん (フランス)

ホセ・ベルランガ さん (メキシコ)

日本語教室「にほんごのもり」で日本語を勉強しているノエルさん、オリビエさん、ホセさん。お互いにインタビューし合いながら、日本での生活や「幸せを感じる時」などについて発表しました。発表の一部を紹介します。

オリビエ：日本料理の中で何が一番好きですか？

ホセ：私はラーメンと刺身と納豆。納豆大好き、毎朝食べました！（会場からどよめき）

ノエル：日本の料理の中で、カレーライスが好きです。

ホセ：え〜、カレー？ 日本料理じゃないよ。（笑）

ノエル：でも、インドのカレーとカレーライスは違うよ。

ホセ：オ…OK。（笑）

オリビエ：私はお寿司大好きです。

オリビエ：「幸せな時」はいつですか？

ホセ：泳いだ後、お風呂の中、リラックス。

オリビエ：ビール、飲みますか？

ホセ：飲みます。

オリビエ：「幸せな時」はいつですか？

ノエル：自分で作った料理を食べることがいいです。あなたは？

オリビエ：「にほんごのもり」で先生に会った時は幸せです！（会場から笑いと拍手）

オリビエ：趣味は何ですか？

ホセ：サッカー、好き。サッカーする。時々、クリスティアーノ・ロナウドと一緒に、テレビで。（笑）

オリビエ：あなたの趣味は何ですか？

ノエル：スペインでハンドボールをする時です。でも今時間がありますから、テレビで観てます。

オリビエ：私の趣味はコスプレです。（笑）少々お待ちください。（リラックスの着ぐるみで登場）

ホセ：くまさん、こんにち。元気ですか？くまさん、食べ物何好きですか？くまさん、ハニー大好き。「ハニー」…日本語で何だっけ？（笑）

ノエルさん、オリビエさん：「ハニー」、何だっけ？（ここで5分のベルが鳴り、会場から笑い）

ノエルさん、オリビエさん、ホセさん：…ありがとうございました！



かんどう

感動トーク賞「私が思う平和な暮らし」



スベディ・ジャヌカさん（ネパール）

菅原学園デジタルアーツ仙台 国際情報ビジネス科 1年生のジャヌカさん。

今年4月に発生したネパール地震の話を交えながら「平和」についてスピーチしました。

皆さん、こんにちは。ナマステ。私はジャヌカと申します。ネパールのカトマンズの出身です。2014年1月12日に日本にまいりました。今は、菅原学園デジタルアーツ仙台の国際情報ビジネス科で勉強している1年生です。

私の国、ネパールは小さい国です。ネパールは、世界最高峰のエベレストなどで有名な国ですが、それ以外にも魅力がいっぱいあります。ネパールでは有名な所がたくさんありますが、その中でもポカラが一番いい所です。ネパールの首都はカトマンズです。カトマンズは「お寺の町」という意味です。有名な所ポカラには、毎年たくさんの外国人が来て、遊んだり、写真を撮ったりします。今のネパールは、仙台と同じような気候です。とても涼しくてすごしやすい所です。有名な食べものは「モモ」です。「モモ」と言っても果物ではありません。「餃子」みたいなものです。他に、お米と豆で作った「ダール」というスープがあります。

ネパールは平和な国です。大変なことがあっても、お互いにみんな困っている時、助けます。平和は「戦わない」、「争わない」、「優しさ」、「愛」、「人情」という意味です。自分の周りに困った人たちがいる時、助けることは「平和」です。

今年の4月に、ネパールでは大きな地震がありました。その時、1万人が亡くなりました。2万1千人が怪我をしました。その時、たくさんのビルとかお寺が倒れて、大変なことになりました。その時は、いろいろな国から、怪我をした人たちに薬とか食べ物をもらいました。日本政府からも、10億円のお金、テントや食べ物とかいろいろと助けてもらいました。デジタルアーツ仙台の先生方も、募金活動のためにいろいろな準備をしてくださいました。どうもありがとうございました。他の学校も協力し合って、募金で集めたお金をネパールにいる怪我をした人たちに送ってくれました。日本のいろいろな会社からも助けてもらいました。たくさんのテントができて、夜になった時、家族は安心して過ごすことができました。日本の皆さんに、心からありがとうと言いたいです。

日本では、みんなで助けることを「おたがいさま」と言うのを聞きました。ネパールの「平和」と同じ意味です。これからも「おたがいさま」と「平和」を大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。



しょう ところ ところ おもしろコント賞「心のある所にはピースもある」



(※写真左から)

チェン・リージュンさん (台湾)

シェ・イン・チェンさん (台湾)

東北大学でバイオ工学を学ぶチェンさんとシェさん。疲れ切ったサラリーマン・毛津 彼田 (＝もう疲れた) と、ピースを作るヒーロー・台湾マオシンに扮し、寸劇に挑戦しました。以下は発表の一部です。

毛津 (シェさん)：あ～、今日もやっと仕事が終わりましたなあ。せっかく明日から週末ですけど、何か全然やる気がないですね。子供の時、アニメを観たりゲームをしたりして、とてもピースでした。じゃあ、今も観てみるか。(アニメを観賞) あ～、やっぱり気持ちが楽になりました。けど、まだ何か足りないかな…。(突然光が差す)

マオシン (チェンさん)：あなたのお願いを聞きましたよ！ごめん、ごめん、驚かせました。私はピースを作る者、台湾マオシンと申します。これから、ピースができる所にあなを連れて行こう！

毛津：(自分がタオル姿になっていることに驚き) 何で服が！

マオシン：大丈夫ですよ、気にしないでください。ほら見て、温泉ですよ。どうぞ入ってください。

毛津：いいんですか？じゃあ、失礼します。あ～、気持ちいいですね。この瞬間はピースですな～。ちょっと気持ちが良くなりました。だけど、まだ何か足りない気がしてます…。

マオシン：あれ、お腹が空きましたね？(道具を出して料理を作り) お待たせ！台湾料理。

毛津：え、いいんですか？おいしい！さすがマオシンさんですね、すごいです。

マオシン：じゃあ、いっぱい食べて遊んで、満足になりましたか？

毛津：でも、帰ったらまたたくさん仕事をやらなければいけないので、すぐ落ち込むかもしれません。

マオシン：元気を出してください！仕事は大変ですけど、毎回目標を遂げた時はすごくピースだったんでしょ？それは、あなたが今までずっと頑張ることができた理由ではないんですか？

毛津：(泣きながら) 大事なことを思い出させてくれて、本当にありがとうございます！

マオシン：またやる気が戻ったなら良かったです。では、これ。

毛津：何、これ？

マオシン：あなたにお勘定をお願いします。(笑い)

毛津：ちょ、ちょっと！

マオシン：じゃあ、私もそろそろ私の世界に戻るんですが、頑張ってくださいね！

毛津：え～、私は知らなかったんですよ、お金のこと！ちょっと待つて～！

まあいいか。気持ちが落ち着いた後は、何かあってもピースになった。じゃあ、これからも頑張ろう！



しょう なるほどトーク賞「日本の安全について」



ヒロセ・ファヌタ・ダリアさん

(ルーマニア)

仙台に住んで5年になるヒロセさん。「ピース」を感じる日本の「安全」について、ルーマニア、盛岡、仙台での様子や出来事を比較しながら発表しました。

こんにちは。皆さん、元気ですか？ピースですか？私は、ヒロセ ファヌタ ダリアです。ルーマニアから来ました。たぶん、（他の発表者の）皆さんよりは長いんですが、日本に来てから今年で7年になりました。仙台は5年です。私の国は、昔はいろいろ大変なことがありましたが、平和になりました。昔はチャウシェスクという大統領がいて、20～30年前はいろいろ大変だったんだけど、国の中は安定しました。

なんで今日は「安全」を話すかというと、私がピースを感じるのは「安全」だからです。「安全・安心」な所は、やっぱりピースだと感じます。日本は他の国より、私の国より安全です。家族からは「あんまり夜遅くまで歩けない」とか「あんまり知らない人と話をしない」と教えられたけど、日本では、夜に道を歩いても安全です。私の国と日本は6時間も時差があり、日本が夜になると私の国はまだ昼で、最初の1年は眠れない時がいっぱいありました。朝の5時とかに寝たりしたこともありました。そして、やっぱりさみしいなとか、お母さんと話したいと思って、夜中の3、4時くらいにコンビニに行って、プリペイドカードを買って電話したりしました。最初の1年は盛岡に住んでいて、住んでいた所は道が明るかったけど、コンビニまではちょっと遠くて暗かったので怖かったけど、2、3回行ったら、大丈夫だなと。人がいると「何か起きるかな」と思ってちょっとびっくりしたけど、家に安全に戻れて、「ああ、日本はいいな」と思いました。お母さんに「今、コンビニでカード買ったよ」と言い、「日本は大丈夫だよ」と何回も言っても、「絶対、夜中に1人で歩いちゃいけない」と言われました。たまに、家に鍵をかけないでそのまま出かけたことも何回かありました。途中で、「鍵をかけなかった」と思い出してちょっと心配したけど、家に帰ってみても誰も入ってなくて大丈夫で、安心しました。

私の旦那さんは日本人で、毎朝会社に行って夜に戻ってくるけど、たまに病院とかどこかに行かなくてはいけないうちもあって、そういう時は1人で行くしかありません。仙台はすごく便利で、盛岡より幸せです。地下鉄もあって、バスもあって、JRもあって、何に乗ろうかとすごくワクワクしました。盛岡はバスしかないし、ほとんどローマ字も書いてなくて漢字だけです。何を書いてあるのか、どこからどこまで行けばいいとか分からなくて、ほとんど周りの人に聞いてました。バスの運転手さんには何回も聞いて、たぶんうるさかったと思います。

私がピースと思っているところは、やっぱり日本の安全で、とても安心しています。ありがとうございました。



しょう ロングなトーク賞「留学生のピース」



マムン・アブドゥラ・アルさん

(バングラディッシュ)

東北電子専門学校に通い、せんだい留学生交流委員でもあるマムンさん。会場のお客さんともやりとりしながら、ピースについてトークをしました。発表の一部を紹介します。

緊張しますね。(その場で腕立て伏せを始め、会場から笑い) スピーチなんて自分にできないと思ったんだけど、平和について、なんとか話そうかなと思って来ました。よろしくお願いします！

じゃあ、自分が思っているピースな時間はいつですか？(来場者に声をかけ) じゃあ、こちらのお姉さん、ピースな時ありますか？(「学校でALTと話す時、つかえずに言えた時」という答えを聞いて) どうもありがとうございます。私は毎日、バイト、学校行ってます。例えば、先輩に怒られてます。「すいませんでした。今回だけ許してください」そんないろんなことがストレスになって、私たち何します？カラオケ行きます。飲み会に行きます。いろんなことします。ピースですか？それ、自分から逃げるんじゃないですか、本当のものから。ピースって深い話になるんですけど、5分で話せないんです。(笑い)

私のテーマ「留学生のピース」って特別ですか？留学生もみんなと一緒に。ただ、家族と一緒にいないとか、一人暮らししてますとか、最初日本語がしゃべれないとか。トラブルがいっぱいあったんだけど、その中でもピースはいつだったんですか。例えば僕は、飲食店でバイトしてるんですよ。この間、がんばって仕事してすごい忙しい。その時、ある人が突然来て「お名前なんですか？お兄さん」「僕、マムンと申します」「料理とてもおいしかったですよ。ありがとうございます。ごちそうさまでした」その一言で…(ここで5分のベル) ちょっと待って、深いからね。終わらないでしょ、5分で。(笑い) お腹すいたお客様がごはん食べてピースと思ってます、帰る途中で「ごちそうさまでした。とてもおいしかった」その一言で、ピースがまた私に飛んできました。そのピースで私が元気になって、すごい疲れたけどもっと頑張れます。そこはピースです。職場でどんなに怒られても、自分が好きなことやるのがピースです。ストレスがたまる、それは人間だからしょうがない。でも、自分から逃げないで楽しむことがピースです。

もう一つは、朝から学校、仕事で、1時2時帰ってきて、週1回くらい家族に電話して、やっぱりそこはピースですね。お母さんにこの前、「いつがピースだと思ったんですか、今まで人生で」と聞いたら、「お前が産まれた時」って。お母さんが子供産む時すごく痛みあるのに、子供産んでピースだと思う、そのお母さんと話せるのがどれくらいピース。みんな家に帰って、自分のお母さんに一回聞いてみた方がいい。まあ、時間が時間なので、申し訳ないです。(笑い) 最後にご挨拶、僕、バングラディッシュから参りましたマムン・アブドゥラ・アルと申します。東北電子専門学校の2年生です。卒業生です。よろしくお願いします。



よくできましたで賞「^{しょう わたし}私^{つく}たちが作った^{にほんごしんぶん}日本語新聞」



(※写真左から)

アシュ・ハドゥ・イスマイルさん（モルティブ）

シドレンコ・ユリアさん（ロシア）

バタライ・ビギャンさん（ネパール）

仙台国際日本語学校に通っているアシュさん、シドレンコさん、バタライさん。自分たちで取材し、作成した日本語新聞について発表しました。発表の一部を紹介します。

アシュさん：皆さん、こんにちは。今日は、私たちが授業で作った2つの新聞を紹介したいと思います。いろいろ調べたりして準備するのに3カ月かかって、書き始めて1カ月かかって、2つの新聞を作りました。本当は、仙台にいる外国人向けの新聞なんですけど、日本人の方にも読んでもらいたいと思って作りました。これから、1つの新聞『THE FOREIGN VOICE』について紹介します。

シドレンコさん：『THE FOREIGN VOICE』、「外国の声」という意味です。（最初のページをスライドで見せながら）このページは、現在のニュースと留学生の経験と外国人のための情報です。次は、紹介のページです。ここでは、ネパールの国の紹介、ベトナム料理の紹介です。店の紹介、レシピもあります。ここはインタビューについてのページです。外国人から見た日本と日本から見た外国のことです。そして、仙台国際日本語学校の学生の川柳です。次は、仙台国際日本語学校の卒業生の一言です。ここでは、中国人、イギリス人、韓国人、ネパール人、カナダ人もいます。次は、スポーツについてのページです。そして最後は、クラスのメンバーの写真です。皆さん、読んでみてください。

バタライさん：私は別のグループなんですけど、私たちの新聞は『楽日本 TIMES』って言って、楽しい日本という感じです。最初のページは、仙台の紹介と、漫画もありますけど、昔話について書いてあります。次はスポーツのページで、実際にテコンドーをやった人が書いてくれた記事です。次のページは、日本の文化について、コスプレや生け花やラーメンについて書いてます。あとは日本語で好きな言葉、私の好きな言葉は「お疲れ様」という言葉です。あとは「愛愛愛」って言って、「愛」について、国際結婚とか仙台でデートとかについて書いてあります。最後は料理のページなんですけど、韓国料理と日本の寿司とロシアの料理の紹介になります。以上です。ぜひ皆さんも読んでみてください。

アシュさん：（スライドの写真を見せながら）外国人が日本語で新聞を作るのはやっぱり大変だったけど、先生たちのお陰と友達の協力でよくできたから、皆さん読んでみてください。以上です。

素敵なトーク賞「小さな発見の旅」



張璐さん（中国）

日本に住んで10年になる張さん。
日本での楽しい発見の日々について、
自分が感じたことを丁寧に語ってくれました。

初めて日本に来た時、冬でした。仙台は内陸気候の実家より暖かく、よく雪が降っていました。日本に来てすぐ、三条町の国際交流会館の日本語サロンに通うことになり、私の楽しい発見の旅が始まりました。

北仙台駅から徒歩で行くことにし、細く曲がった小路の両端に立ち並ぶ一軒一軒の小さなお店や民家、テレビで見た日本の町の風景だと、可愛く、写真に収めたくくなるような所でした。雪が降り積もる爽やかな朝、空気が美味しく、日差しが暖かく、飛び出した仔猫が忍び足で爪先立てて走っていて、その“あんよ”で作った梅の花が、静かな小路に趣を添えました。歩き続けると、カーカーという鳴き声があちこちから聞こえてきます。何かと思ったら、カラスでした。こんな身近でカラスを見るのが初めてでした。中国では、頭の上にカラスの鳴き声が聞こえたら悪い事が起きる、という言い伝えがあって、縁起が悪いものとされています。最初は嫌でしたが、そのうちに気にも留めなくなりました。カーカーはさておき、後ろから、愉快的な音楽が耳に入ってきます。振り向くとゴミ収集車でした。埃も立てず、その綺麗に分けられたことにも感心しました。ゴミ収集車のメロディーを楽しみながら歩き、心も弾みます。ところが、「左に曲がります、ご注意ください。左に曲がります、ご注意ください」。“え～、いいところだったのに”、チョッピリ残念でした。

夏に、この緑いっぱいな道が大変気に入りました。緑の奥に神社やお寺の姿が微かに見えます。深く伸びる一本の石段、木々の隙間から漏らした一縷の光を集め、その影で自分の退屈を誤魔化している、神社やお寺が密集しているところを見るのも初めてでした。きっと多くの神様がこの地を守っているに違いありません。楽しんでいところ、信じられない光景が目に映りました。なんと、住宅地の真ん中に沢山のお墓が並んでいました。とっさに産毛まで立っちゃいました。“うっかり入ってきて、失礼しました。私の軽率をお許してください。すぐに消えますから。すみませんでした”と、心の中で何度も繰り返しました。でも、やはりこの墓地は、会館に行く近道になっていて、そのうちに慣れてきて、よく朝にお邪魔させていただくことになりました。もちろん、仏様にご挨拶もきちんと申し上げます。

日本語サロンでは、それぞれ遠い異国から来た方々が集まり、様々な言葉が飛び交い、色んな地域、色んな文化の方々が同じ輪の中で勉強、暮らすことができ、とても楽しく、幸せと感じています。日本の生活の中で、沢山の不思議、沢山の発見が私の毎日の中で待ち伏せをしています。この一瞬間、一瞬間、私の生活を彩っています。今日、この場にいらした方々が、この縁で会うことになり、これを「一期一会」と言いますよね。昨日は昨日で、明日はまたどんな発見が私を待っているのか、楽しみです。今日から皆さんも一緒に、新しい発見を探してみませんか？

しんさいん こえ 審査員の声

いたばし けい こし
板橋 恵子氏

(Date fm DJ・パーソナリティ)



それぞれの持ち味を生かしたパフォーマンスはとても楽しく、日本人には気づかない視点からのスピーチに感心させられました。皆さんの一生懸命な姿は、感動的でもありました。会場全体の雰囲気も温かかったです。

あそ ようこし
阿曽 容子氏

(NPO法人 国際都市仙台を支える市民の会 ICAS)



「たのしく日本語トーク！」は、タイトルの通り楽しかったです。発表者の皆さんの表情も教室での表情とはまた違って、リラックスして楽しんでいる様子がよく見えました。とてもいい会だったと思います。

オム・テボン氏

(東北大学法学研究科博士課程)

2014年せんだいちきゅうフェスタ実行委員長)



これまでの弁論大会に比べて参加しやすくなり、いろいろな参加者がいろいろな話を自由なスタイルでできて良かったと思います。これからも続けてほしいです。

にほんやなぎ もとい
二本柳 基

(公益財団法人 仙台観光国際協会 常務理事)



今までの形式とは違うので、果たしてどうなるかと思いましたが、いろいろな形式で発表してもらい、非常に良かったと思います。これからもこうした型にはまらない形で、楽しく開催できたらと思っています。

らいじょうしゃ こえ 来場者の声

新しいスタイルで、昨年までとは違った印象を受けました。様々な発表の形式があり、発表者の皆さんにとっても良い機会だったのではないのでしょうか。

いわゆる弁論大会のようにではなく、内容や形式の制限を取り払うことで、見ていて飽きませんでした。また、プロジェクターや音響設備の使用は、発表の可能性が広がり、内容をより分かりやすく効果的に伝えるのに非常に良いと思いました。ただ、発表者や観客をもう少し広くたくさん集められたら、より会の質が高まるのではないかと感じました。

日本人は、物があってももっと欲しがったりしがちですが、本当の幸せとは、物を買ったりどこかに行ったりしてお金を使うことではなく、当たり前前のことに幸せを感じることはないかと、あらためて気づきました。

自分も外国人ですが、発表が素晴らしかったので、最後まで見ました！





「日本語トーク！」スタート！



司会のトマスさんと馬場さん

ダンスで会場を
沸かせました！



審査員の皆さん



発表の様子

来場者も出場者も審査員
も、みんな笑顔いっぱい
です！



来場者の皆さん



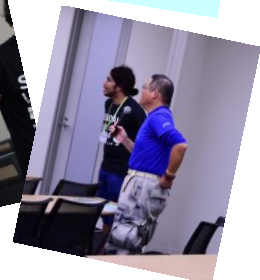
出場者の皆さん



出場者へのインタビュー



質問タイム



審査中の様子



表彰式

全チームに賞が
授与されました！

前日の準備



みんなでポスター
を作りました！



お客さんの呼び込み



出場者への説明



当日の流れを
説明しているところ
です

司会の2人



表彰状の用意



ミーティング



やり切って、みんな
晴れやかな表情です！



弁論チーム メンバー

今年は9名のメンバーで運営しました。

リーダー: 内藤詩音
司会: グティエレス アルバレス ホセ トマス
発表者補助: 馬場めぐみ
シンジエー ポロルチメグ
ポーニルグロツジ チャーノン
審査補助: 邢妍
鈴木恵
全体: 鶴巻さやか (SenTIA)

はっぴょうしゃ しんさいん みな
発表者と審査員の皆さん



ありがとうございました！

へんしゅう はっこう
【編集／発行】

こうえきざいだんほうじん せんだいかんこうこくさいきょうかい
公益財団法人 仙台観光国際協会 (SenTIA)

〒980-0804 せんだいしあおばくおおまち ちょうめ
仙台市青葉区大町2丁目2-10

TEL : 022-268-6260

FAX : 022-268-6252

* 弁論集は、SenTIA のホームページでも見る
ことができます。

<http://www.senia-sendai.jp/>

※この弁論集は、発表者の意向を尊重するため、より原文に近い形で掲載しています。